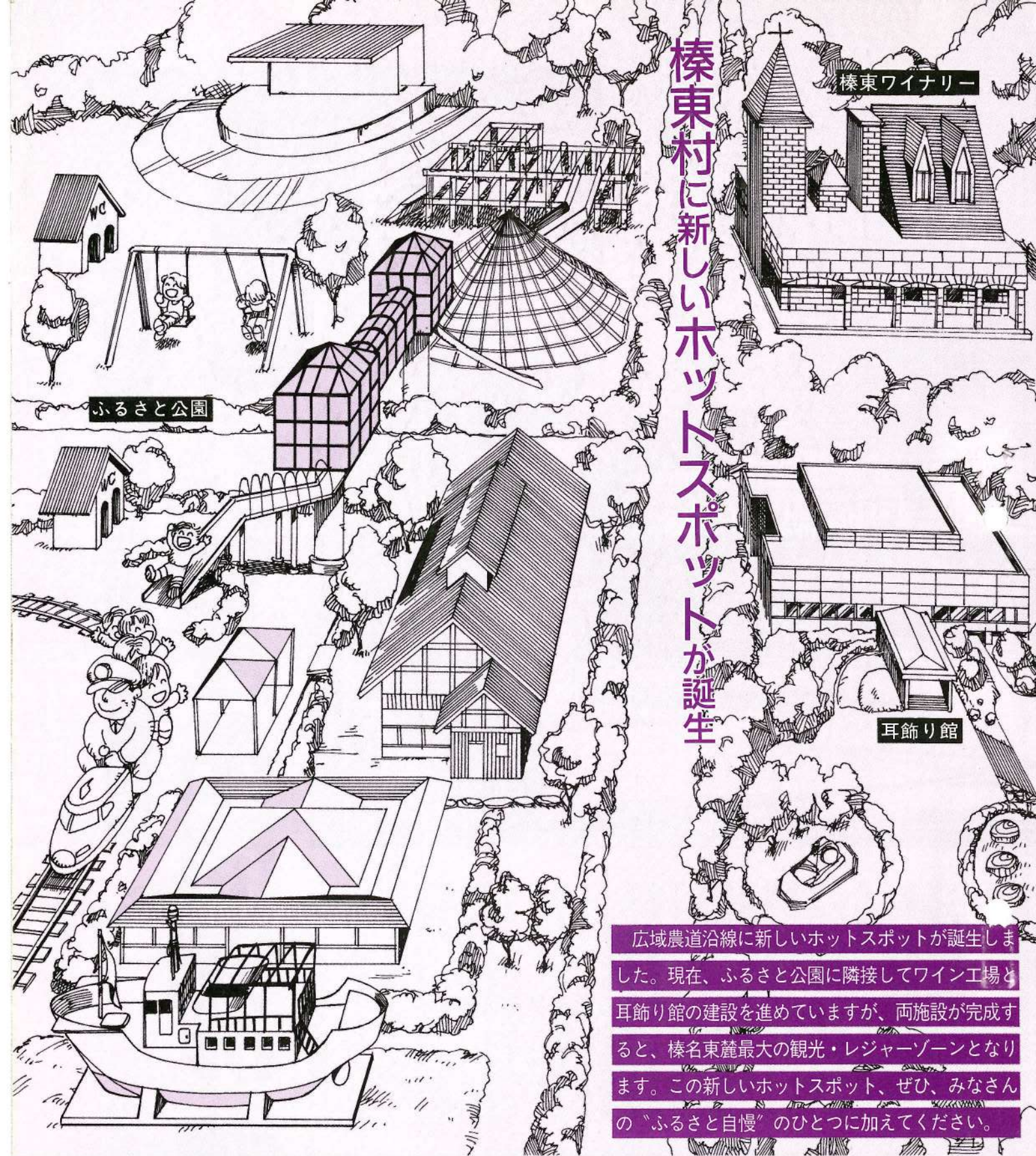




榛東ワイナリー

ふるさと公園

耳飾り館

榛東村に新しいホットスポットが誕生

広域農道沿線に新しいホットスポットが誕生しました。現在、ふるさと公園に隣接してワイン工場と耳飾り館の建設を進めていますが、両施設が完成すると、榛名東麓最大の観光・レジャーゾーンとなります。この新しいホットスポット、ぜひ、みなさんの“ふるさと自慢”のひとつに加えてください。

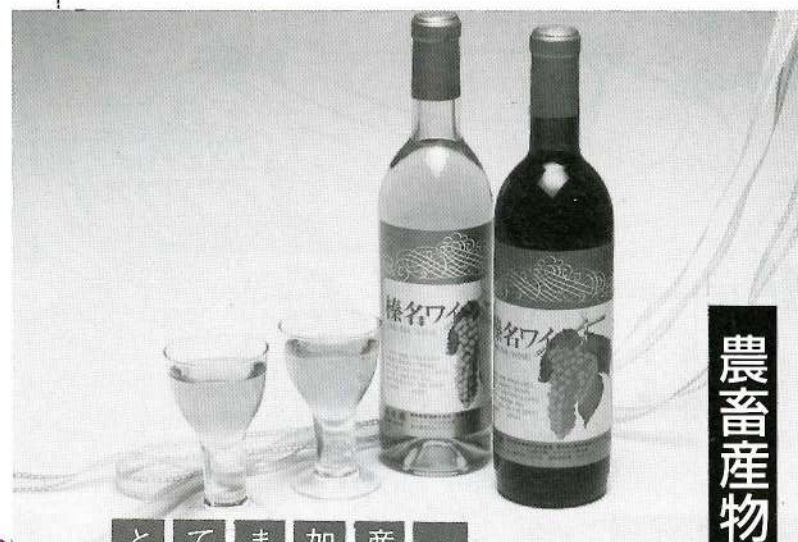
広報

1991年 **12**月号 (No.248)

しんとう

主な内容

建設事業紹介	2～5ページ
社会福祉だより	6ページ
老人保健法改正	7ページ
村民文化祭	8～9ページ
むらのニュース	10～11ページ
お楽しみ会	12～13ページ
まつり	14～15ページ
こちら保健婦	16ページ



特産品開発の拠点

低迷を続ける本村の農業に活気を取り戻すと共に、特産品の開発を進めようと、村では本年度、「農畜産物処理加工施設」（仮称・榛東ワイナリー）をつくることになりました。この施設は、生産者自らが「つくって」「加工して」「売る」という、新しいスタイルの農業への取り組みとして、大きな期待が寄せられています。

新しいスタイルの農業に積極的にチャレンジ

本村の産業は、養蚕をはじめとした農業を中心として発展してきたことは、みなさんすでにご存じの通りです。しかし、その農業も昭和五十年代以降、養蚕の不振をきっかけに長く低迷が続けています。と同時に、担い手の高齢化と後継者の農業離れが進み、このままでは、榛東村の産業から農業という文字が消えてしまうのも遠くないと心配されるなど、深刻かつ重大な局面を迎えています。村でもこれまで、新しい作目の模索をはじめ、人口飼料用の稚蚕飼育所を建設したり、生産者団体に補助金を出すなど、活性化のために最大限の取り組みとバックアップをしてきましたが、光明を見い出せない状況が今なお続いています。一方、こういった状況の中、創意と工夫で立派な農業経営を続けている農家もたくさんあります。畜産や果樹、施設園芸などはその好例です。また、最近では加工食品への取り組みも活発になってきま

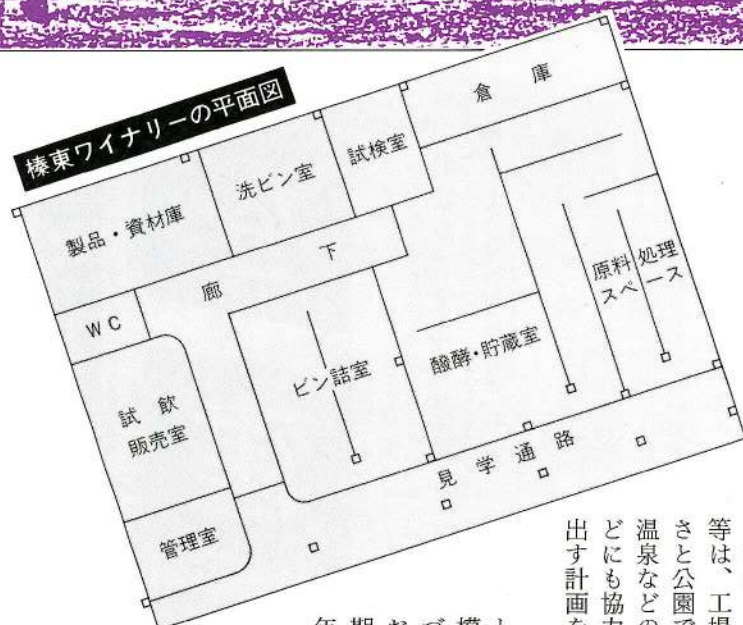
した。杜仲組合の杜仲葉を使ったうどんやそば、さつまいも組合の乾燥いも、十五区の「宮室の里」やなす組合のつけ物などがその例ですが、これらは、自分たちでつくったものに付加価値をつけて売るといった新しい試みで、着実にその成果を上げています。加工食品への取り組みはこれまでもありました。みなさんご存じの榛名ワインです。このワインは、ぶどう生産者の手によって開発されたもので、ぶどう狩り客への観光販売や口込みで売られていますが、毎年一万本前後が売られるなど、ぶどう生産者の貴重な収入源の一つにもなっています。ワインは、食生活の変化とグルメ指向によって、近年一段と消費量が伸びている飲み物の一つ。山梨県をはじめとして国内でも各地で生産されていますが、市場性と将来性のある商品として有望視されています。そこで村では、下地が整っているワイン生産を、生産者と共により本格的なものにさせていこうと、ワイン工場を建設することになりました。

『榛東ワイナリー』でワインとジュースを生産

「榛東ワイナリー」と名付けられたこのワイン工場は、農林省の「農業農村活性化農業構造改善事業」を取り入れてつくられるもので、今月から着手し、平成四年の三月末に完成させる計画です。場所についてはふるさと公園北側に用地を確保しました（表紙参照）。建物は鉄骨造コンクリート瓦葺平家建てで、床面積は五百平方メートル（約百五十坪）、平家ながら最高軒高が一二メートルとなるなど、西洋の古城を思わせるしゃれた建物となります。なお、用地取得費を含めた総事業費

には約二億一千五百万円（そのうち国の補助金は一億百万円）を見込んでいます。ワイン生産には、酒造法によるところの酒造免許が必要となりますが、この免許については、広馬場地区のぶどう生産者によって組織・運営されている「群馬葡萄酒株式会社」が持っているため、榛東ワイナリーの運営については同社に委託することにしました。榛東ワイナリーでは、ぶどうや梅を原料にしたワインのほか、キウイフルーツやりんごを使ったジュースなども製造する計画で、将来的には、年間五万九千本（720mlびん換算）の生産体制にこぎつきたいと考えています。なお、ここで生産されたワイン等は、工場見学客への直売やふるさと公園での販売のほか、伊香保温泉などのホテルや村内の酒店などにも協力を仰ぎ、大々的に売り出す計画を立てています。

村ではこの計画を、新しいスタイルの農業への模索と特産品開発の拠点づくりとして位置付けており、その成果に大きな期待を寄せています。本年度においても、同一敷地内に、漬け物等の加工施設を併設するなど、生産者と一体となった産業振興を強力に進めていきたいと考えています。



村内6カ所に集会所

本村には、地域単位につくられた集会所が6カ所にあり、各種の事業や活動のほか、地域住民の相互の交流などに役立っています（このほか長岡地内に児童館がある）。



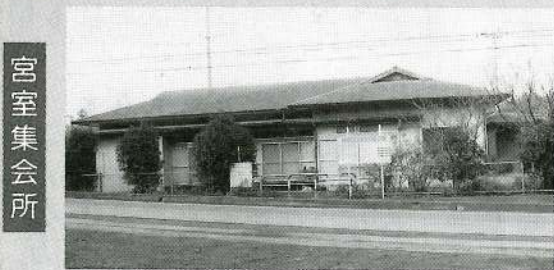
長岡集会所



萱場集会所



笹熊集会所



宮室集会所

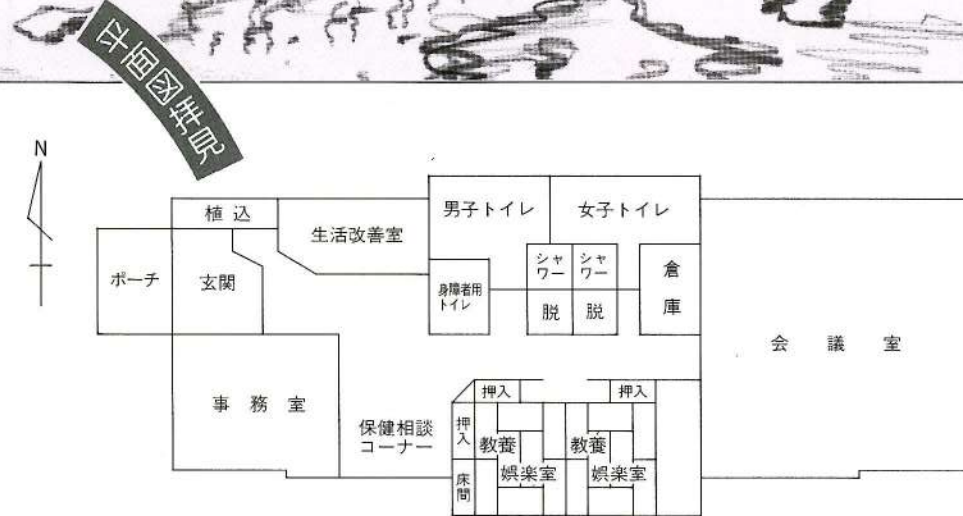
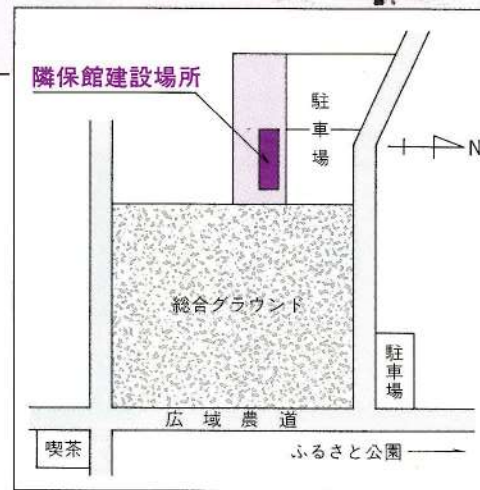
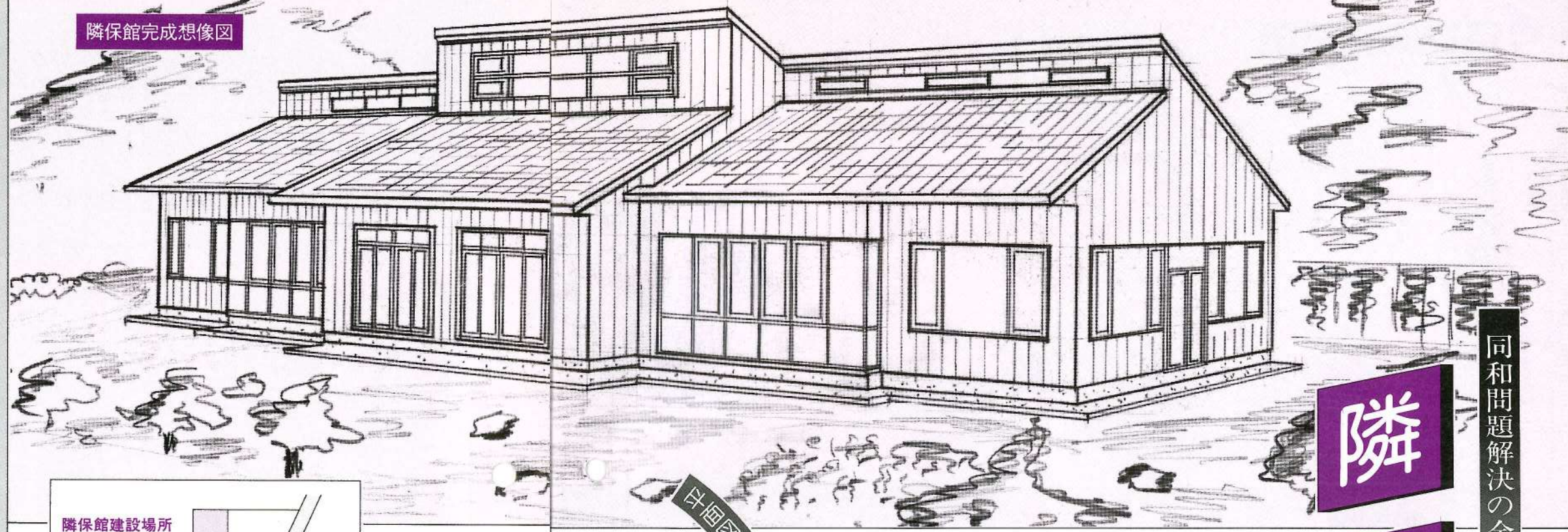


下前集会所



上野集会所

隣保館完成想像図



隣保館を建設

同和問題解決の全村的施設

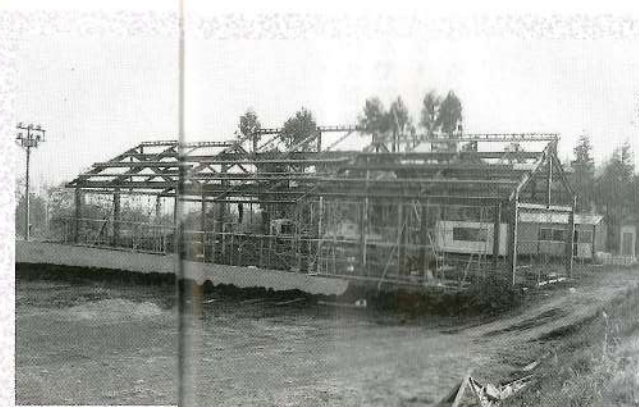
オープンは平成4年4月

同和問題のすみやかな解決は国民的課題

昭和四十年に、同和対策審議会より「同和問題の早急な解決は国の責務であり、国民的課題」という答申が出されて以来、「同和対策特別措置法」（昭和四十四年七月五十七年三月）や、「地域改善対策特別措置法」（昭和五十七年四月六十二年三月）、「地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」（昭和六十二年四月）現在などによって、さまざまな事業が実施されてきました。これらの法律では、地方公共団体にも事業の実施を義務付けていますが、本村においてもこれまで、さまざまな事業を実施するなど、この問題の一日一刻も早い解決のために、全力を上げて努力してきました。村内6カ所にある集会所や長岡にある児童館などもこの事業の一環としてつくられたもので、啓もう活動や学習会、レクリエーションや趣味の教室などに広く利用されています。

シャワー室も完備多目的に利用

この隣保館は「国民的課題としての同和問題に対する理解を深めるための事業や活動を総合的に行



総合グラウンドの西側に隣接してつくられている隣保館

約一億六千四百万円を予定していますが、この内約三千二百万円が国から補助されます。現在すでに工事に取っかかり、平成四年四月にはオープンさせ、広くみなさんにご利用いただく計画です。なお、この施設には男女別々のシャワー室も設けられますので、総合グラウンドを利用しての各種スポーツやレクリエーション大会の際には、着替えやシャワー、昼食の会場などとしても大いにご利用いただきたいと思います。

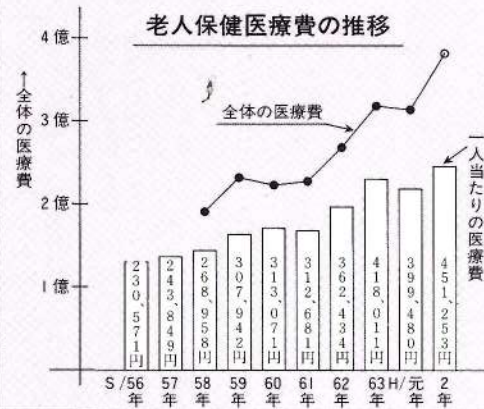
用されています。なお、これらの施設については規模が小さいため、それぞれの地域単位で利用されているのが現状で、これらとは別に、全村的に利用できる施設をという声が強くなってきました。そこで村では、国の補助事業を受け、本年度、「隣保館」（仮称）を建設することになりました。

医療費の増加が 国保財政を圧迫

老人保健は、70歳以上のお年寄り（65歳以上の一定の障害のある人を含む）を対象としており、その性格から、会計処理も「老人保健特別会計」として、国民健康保険特別会計や社会保険などとは別個に行われています（昭和58年から実施）。

下の表に示すように、老人保健による医療費は、昭和58年度に約1億9千万円であったものが、平成2年度には約3億8千万円となるなど、8年間の間に約1億9千万円も増えています。また、被保険者一人当たりには換算した医療費を見ても、過去10年間で約2倍になるなど、まさに「うなぎのぼり」の状態が続いています。

この上昇傾向が今後も続きますと、国保会計を大きく圧迫することにもなりますので、歯止めをかけるためにも、お年寄りのみなさんの自主的な健康管理に大きな期待が寄せられています。



老人医療はうなぎのぼり

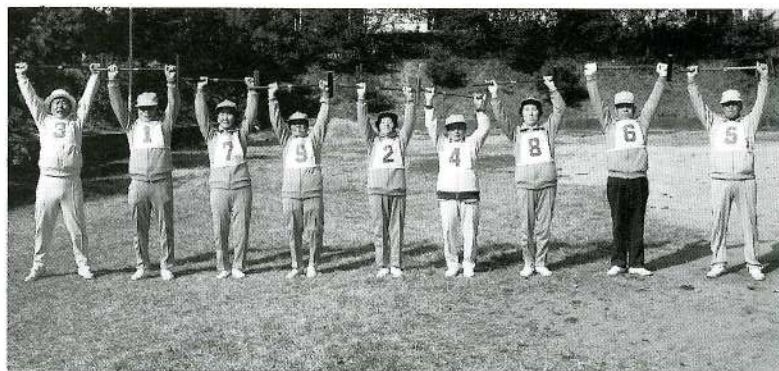


表 1 : 一部負担金
改正一覽

区分 期間	外来	入院
平成3年12月まで (現行)	1カ月 800円	1日 400円
平成4年1月から 5年3月まで	1カ月 900円	1日 600円
平成5年4月から 7年3月まで	1カ月1,000円	1日 700円

医療機関の窓口で支払う一部負担金が、表1のように変わります。

来年一月から入院は六百万円

四月以降は、消費者物価の変動率に
 応じて金額が変わる。

◆老人保健法を一部改正

一部負担金を段階的に引き上げ

このほど、七十歳以上のお年寄りに対する医療などを定めた「老人保健法」が、一部改正されました。今回の改正は、介護体制の充実と老人保健制度の長期的安定を図ることを目的としており、主な改正点は次のとおりとなっています。

外來は、これまで一カ月当たり八百円であったものが、平成四年一月からは九百円に、さらに平成五年四月から同七年三月までは千円に引き上げられます。また、入院についても、これまで一日当たり四百円であったものが、平成四年一月からは六百円に、平成五年四月から同七年三月までは七百円となります（いづれも、平成七年

榛東村
社会福祉
だより

六月のある日、一じはんころ
ほくが学校からなえってくるど、
いかにカギがななつていて、いかに
の中にはいれませんでした。
こんなことは、はじめてでした。
あせ、パパマママ、あばあちゃん
んち、ほくになにちいわちなつた
のです。あばあちゃん、をこへへ
いったんだらう。ほくは、このま
まずっとくらくするまで、いかに
はいれなひんだらうか。ほくは、
だんだんさみしくなつて、とうとう、
う、ないてしまひました。
ほくは、ランドセルをしよつた
まま、をこか人のいるところへい
こうとあちつて、とまひのおどう
えんにいきました。ちち、だれち
くませんでした。とちち、さみし
くなつてきました。ちち、さみし
くあるいてゐると、うめをとつてい
る、いままであつたことをなひい
、あじさんとあばさんにあひました。
あばさんが、ほうや、をうしたの
といひました。ほくは、カギが
ななつていて、いかにはいれなひ
ことをせつめいしました。はるち、
あばさんが、あじさんちふたりでし
うめもぎほたいへんだらう、てつ
だつてあくれ」と、やさしくいひ
ました。ほくは、うれしくなりま

[illegible]

ご利用を!! 相談

八人の方から相談がありました。この相談会は、今後、も次の日程で開かれますので、気軽にご利用ください。相談は無料で、秘密は固く守られます（なるべく電話で予約を）。

【今後の巡回日程】

3月3日	2月4日	1月24日
子持村保健センター	小野上村基幹集落センター	北橋村中央公民館
☎24-12-1	☎59-21-1	☎54-2300

時間は午後1時～4時
医療・法律相談は、午
後1時30分～3時30分

全国社会福祉協議会長表彰



松岡福雄さん 山口房江さん
(8区・67歳) (6区・57歳)

長年にわたって社会福祉活動に
務めた功績が認められました。

県知事表彰

16区 藤井 トミさん

長年にわたる家庭介護の努力が認められました。



浅見村長から表章の伝達を受ける藤井トミさん

こんな方はぜひ

★病氣のために仕事につけず、収入がなく生活に困っている。

★子供が高校や大学に進学を希望しているが、所得が少ないため進学が困難だ。何とかしたい。

★離婚調停中の母子家庭であり、生活が苦しい。生活資金を借りたいのだが。

★離婚により別れた夫が子供の養育料を払わない。どうしたらよいか。

★多額のローンを抱えているが、生活困窮のため返済ができない。

★病気で苦しんでいるが、医療費が払えないので入院できない。

★介護に疲れた。家庭介護のためのいい援助施策がないか。

★ひとり暮らしの障害者であるが、身の回りの世話をしてくれる人を頼みたい。

★障害者の息子を抱えて生活が苦しい。障害者のための援護制度について知りたい。

想 隨 長 村



竹 下総理が提唱した「ふるさと創生事業」を機に、むらづくり・まちづくりということが一段とさげばれるようになりました。しかし、むらづくりやまちづくりというのは、けっしていまに始まったことではないと思います。わが国の新憲法の特徴の一つとして『地方自治の尊重』ということが挙げられています。地方自治というのは、自分たちの住むところをよくするために、自分たちで考え、自分たちで取り組むことではないかと思えます。むらづくりまちづくりの原点は、まさにここにあるのではないのでしょうか。

今月、本村が進めているむらづくりの現状についてお話をしてみたいと思います。本村はここ十数年の間に、大きな変ほうを遂げてきました。端的に言えば、これまで農業を中心とした農山村であったものが、現在では、勤労者を中心とした都市近郊型農村へと姿を変えたということが言えると思います。時代の流れと言ってしまう。時代の前までは、短期間のうちにこれほどにまで変わると、正直、大きなとまどいを感じたのも事実です。しかし、この変ほうによって、村づくりの方針もはっきり見えたものではあるま

根幹的なもので考えてみますと、農業については、観光型農業への切り替え、商工業については、雇用型企業の誘致、さらには、積極的な観光開発の推進などが挙げられるかと思えます。現在進めているふるさと公園事業は、これらの視点に立つて進められているもので、本年度、公園に隣接してワイン工場と耳飾り館ができませんが、これらが完成すると、一大観光・レジャーゾーンが形成されることとなります。さらに、この周辺には現在、官民含めてさまざまな構想が持ち上がっており、今後ますます開けていくものと確信しております。

村づくりを進める上で、将来的な可能性や展望というものを考えることはとても大切なことです。こういったことを考えると、広域農道沿線は、村の特性が生かせると共にむらづくりの方針に最も合致するところと言えるのではないだろうか。

この道路は、観光榛東の表玄関としてだけでなく、県が進めている榛名フルーツライン構想にも含まれており、本村の中でも将来性に最も期待を抱かせる道路だと思います。

「一つの投資が、他に波及効果をもたらし、投資以上の効果を上げる——こういったことが価値あるむらづくりだと思いますが、今後、南部や東部地区などの開発を進めるに当たっても、常にこのことを念頭に置いて当たりたいと考えております。」



「様東ふるさと太鼓」のみなさんによる勇壮な和太鼓演奏

恒例となった文化のイベント『村民文化祭』が、十一月二日から四日まで、農研研修館を会場に華やかに繰り広げられました。みなさんの暮らしの中に文化を根付かせるとともに、日ごろの成果を披露していただく企画されているこの文化祭。ことしは、手芸や絵画などの作品展示部門に延べ三百人から三百八十人が、また、舞踊やコーラスなどの芸能発表部門には延べ二百六十五人の参加がありました。この模様を写真で紹介します。



18区の高橋たつ江さんの舞踊



昔若かった乙女たちのコーラス



尺八による日本の歌曲演奏



大正琴の演奏



いきな「関の鯛つり」



イヨッ
日本一

17区の大谷恵美子さんの「祝賀の舞」

文化板 すっかり文化板



南小のお友達による合唱

ぼくたちの合唱
息がピッタリでしよ。
いっぱい練習した
んだよ。



ちびっ子たちのピアノ発表会

エヘヘ。
わたしのピアノ
じょうずでしょ。



北小のお友達によるリコーダーアンサンブル

うまいもんだね
様東村の芸術の
レベルも上がったも
んだ。



絵画などの作品展示コーナー



手芸や盆栽などの作品展示コーナー



1区の善養寺美代喜さんの舞踊——きまってるネ



司会進行役の田村範雄さん

十一年間にわたってこの文化祭の司会進行役を務めさせていただいた七区の田村範雄でございます。来年からは十八区の村上将規さんにバトンタッチすることになりました。長い間お世話様になりました。

どう、この声、
このスタイル、この
美ぼう。まんざら
でもないでしょ!!



「様東グレイブコール」のコーラス



2年続けて ふんわり 2区の岩田一松さん宅

2区の岩田一松さん(農業70歳)宅のナス畑には、昨年大分県から、ことしは長野県から、それぞれ花の種と手紙が結ばれた風船が飛来し、近所の人から珍しがられています。大分県のは小学生から、長野県のは中学生からで、いずれも10月に運動会や文化祭のイベントとして飛ばされたもの。岩田さん宅では、同封の種をもとに花を栽培したり返事を出すなど、心暖まる交流が現在も続いているそうです。



さといもにかれんな花 14区の富沢春男さん宅

14区の富沢春男さん宅では、このほど、自宅の近くで栽培しているさといもに白い花が咲き、近所の話題を集めました。富沢さん宅では毎年さといもを栽培していますが、花が咲いたのはことが初めて。花を咲かせたこのさといもは、細長い実が特徴の『京いも』という種類で、自家用にと約2畝栽培した中の2株。花は白く、水ぼうそうの花を細長くしたような形をしており、奥さんの岩子さんは「とてもかれんで神秘的」と、この珍しい花に見入っていました。



8区若妻会がバレーで「エール」

榛名女子学園ではこのほど、8区の若妻会を招き、『地域交流バレーボール大会』が開かれました。昨年から始まったこの交流会は、地域住民との交流を通じ、生徒たちの社会復帰の意欲と社会人としての自立精神を養おうと企画されたもの。生徒らに混じってバレーボールを楽しんだ9人のママさんたちは「みんな素直でいい子ばかり。一日も早く社会復帰してほしい」と話していました。なお、同学園では、夏にも盆踊り大会を開くなど、地域との交流を積極的に進めています。



『とうかんやまつり』で世代間交流

11区ではこのほど、恒例となった『とうかんやまつり』が行われました。お年寄りの世代から孫の世代へ伝統行事を伝承するとともに、世代間の交流を図ろうと行われているこの行事。ことしも区内の長寿会員と子供会員合わせて100人あまりが参加。子供たちはおじいちゃんたちから、わら鉄ぼうのつくり方やいわれなどを教わったあと、「とうかんやはいいいもんだ」と、実際に「もぐらたたきにチャレンジしていました。また、お昼には、おばあちゃんたちがつくってくれただんごやおもちをもちそうになり、楽しい一日を過ごしていました。」

ぜ/ひ/知/ら/せ/た/い/情/報/

ぼくら
元気っ子

可能性に向かって それ、シュートだ!!

スポ少北サッカー部



「ぼくたち榛東北小サッカー部は、今年の春からスタートしたばかりのチームです。現在部員は34名で、4年生から6年生までが入っています。6年生は9月に行われたGTV杯が最後の大会になりました。結果は予戦リーグ3位で惜しくも決勝トーナメントに進出することができませんでした。今は4、5年生を中心に練習をしています。指導してくれるのは北小学校の佐藤先生と林先生です。きびしいけれど、とてもよく教えてください。練習日は土曜日の午後と日曜日です。けれど今は新人戦(モスバーガー杯)の真っ最中なので、毎日遅くまで練習しています。11月24日に行われた予戦リーグでは、3戦して全勝しました。これからの試合も全員で力をあわせ県大会目指してがんばりたいと思います。サッカーはとても楽しくやりがいのあるスポーツです。これからもサッカーの大好きな仲間がふえればいいなと思っています。」

——文 キャプテン 森田健一くん(北小5年)



【剣道】成績2位 出場選手左から
富沢 裕さん(14区)、金井 継男さん(18区)、
川島 高夫さん(14区)



10区 桑原恵二さん
種目: 29歳以下砲丸投
記録: 12m28
順位: 優勝



13区 川島テル子さん
種目: 30歳以上砲丸投
記録: 10m38
順位: 3位



19区 清水万年さん
種目: 50歳以上砲丸投
記録: 8m80
順位: 3位



18区 高橋伸治さん
種目: 40歳代3,000m
記録: 9分29秒6
順位: 2位

平成3年度の県民体育大会が、十一月三日と十日の二日間、前橋市を主会場に行われました。本村からは二つの団体種目と陸上競技に十人が参加しましたが、十区の桑原恵二さんが二十九歳以下の砲丸投で優勝したほか、剣道と陸上競技の三人が入賞するなど、すばらしい活躍を見せました(いずれも郡の部)。



県民体育大会 10区の桑原さんが優勝



受彰を喜ぶ「宮室の里」のみなさん

内二カ所に直売棟を設け、組合員自らがつくった季節野菜や果物を販売していますが、これによって、各農家の計画生産が可能となっています。また、後者は、同じく組合員自らがつくった野菜などを原料にした漬物を開発するなど、これまでの「つく」だけの農業から、「つくって、加工して、自ら売る」という新しいスタイルの農業を開拓しました。また、販売の場についても、「来る客を待つ」だけでなく、「自ら客のところへ出かける」試みとして、むらづくり産業祭や県民フェスティバルなどの会場へも出店しています。さらに、ことしからは「ふるさとの味」をパッケージした宅配便を始め、現在、村出身者など五十人に利用されています。

今回の受彰は、これらの取り組みが高く評価されたもので、みなさん「表彰は大きな励み。これまでやってこられたのも、村の協力や消費者のみなさんの理解があったからこそ。私たちの取り組みが榛東村農業の活性化の起爆剤となるよう、これからも益々がんばりたい」と喜んでいました。

観光農業「宮室の里」

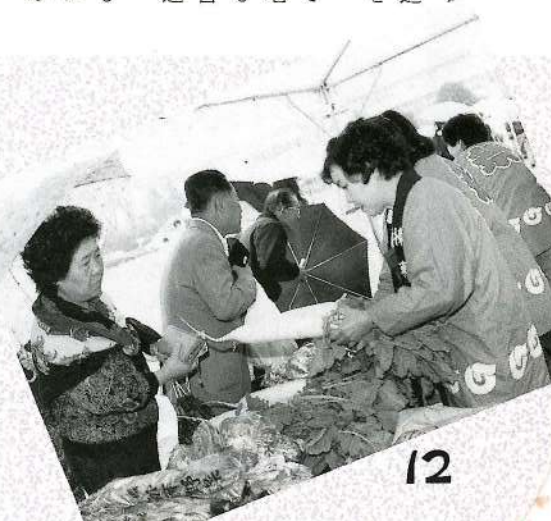
独創性に富んだ 取り組みで知事表彰

■平成3年度「むらづくり優良団体表彰」■

群馬県では、農業と農村の活性化を促進させようと、「農業農村活性化推進事業」を行っていますが、この事業の一環として、「むらづくり優良団体表彰制度」を設けています。この表彰制度は、独創性豊かな地域づくりを支援しようと設けられているもので、本年度、本村から初めて十五区の「宮室の里」(金井公正会長組合員十六戸)が選ばれ、表彰を受けました。

宮室の里についてはすでに存じの方も多くありますが、いまから五年前、時代に即応した観光農業を推進しようと、区内の専業農家を中心に結成されたもの。

宮室の里の大きな特徴は、生産直売方式を取り入れたことと加工食品の開発を手がけたことが上げられます。前者では、地域



増えてます大腸ガン

積極的に検診を!!

近年、急速な増加で新聞やテレビで話題になっている「大腸がん」は、榛東村においても、決して遠い話題ではなくなっています。

しかし、小さい静脈を破って進入する傾向は強く、血流の中に乗って肝臓に転移することもあるので、油断はできません。

昭和五十年代では、がん死亡の原因部位として「大腸がん」は登場しないこともありましたが、昭和60年代に入ってから毎年登場し、昭和六十一年から平成二年までの五年間のがん死亡を集計すると十三人となり、十七人の胃がんに次いで第二位にランクされています。

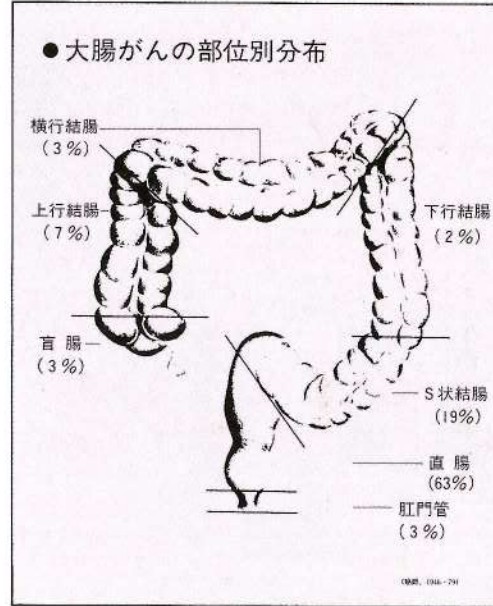
早期に発見・治療すれば 大腸がんはこわくない

大腸がんは、初期の段階ではがん単全体がまとまりやすく、ひとかたまりとなって発育していきます。このため、周りの組織や臓器に浸潤したり、リンパ管に進入したり、腸の壁を破って腹腔内にこぼれて転移するといった傾向が弱いので、早期に発見治療すれば治すことができます。



大腸がんは こんなところに

大腸がんは、食生活の欧米化により増えたとされています。大腸は、右下の図のように分かれていますが、大腸がんの発生場所は、影響を受けやすいといわれるS状結腸や直腸の上部が多くなっています。



おやつ?と思ったら すぐ専門医の診察を

次のような症状がある時は、すぐに専門医の診察を受けてください。



大腸がんの早期発見は便潜血反応検査で
大腸がんは、ポリープの中に存在したり、びらんや潰瘍

のようになっているため、腸の内容物で刺激され、出血するケースが多く見受けられます。しかし、早期ではごく少量なので、便と混じり合って目には見えないため、薬をつかって血液が混っているかどうかを見つけるのが便潜血反応検査です。
2日間の便を少量とって検査すると、「早期大腸がん」の約八〇％を発見することができます。
大腸がんの便潜血反応検査を希望される方は、役場の保健婦までお申込み下さい。
実施時期 平成四年一月二十日〜二十四日
費用 一、〇〇〇円

おめでた

おくやみ

○お誕生おめでとうございます

- 5区 狩野 千紘ちゃん (信也さん長女) 9月29日生
- 9区 牧口 未来ちゃん (忠利さん長女) 10月3日生
- 5区 飯塚 佳世子ちゃん (匡さん長女) 10月4日生
- 7区 高橋 敦士ちゃん (茂さん長男) 10月13日生
- 14区 細野 幸弘ちゃん (郁夫さん二男) 10月17日生
- 8区 松岡 裕里ちゃん (弘光さん長女) 10月19日生
- 19区 青山 裕哉ちゃん (恵三さん二男) 10月23日生
- 10区 グエン・スン・マイちゃん (グエン・バン・タイさん長女) 10月25日生
- おくやみ申し上げます
- 4区 塩澤 善吉さん 88歳
- 5区 狩野 孫次さん 81歳
- 11区 阿久澤 きよさん 81歳
- 16区 宿原 福太郎さん 79歳



わが家のアイドル
17区 西山知宏ちゃん
(清・明美さんの長男 1歳6カ月)
「いたずらの絶えない毎日。大きなケがなく元気でたくましく育ってほしいですね」

人口と世帯

(11月1日現在)

総人口	11,712人 (+51)
男	6,069人 (+33)
女	5,643人 (+18)
世帯数	3,445戸 (+39)

()は対前月

こちら編集室です
一年が経つのは実に早いもの。ことしも残すところわずかとなりました。この一年を振り返ってみると、世界では湾岸戦争やソビエト連邦の解体など、また国内では、長雨や台風による被害のほかPKO法案の国会審議など、国内外で大きなできごとや動きがありました。マスコミの言葉を借りれば、ことしもまさに激動の年でした。みなさんにとって、ことし一年はどんな年だったのでしょうか? 最近、榛東村が第一当事者(過失割合の多い方)の交通事故が多くなっています。交通事故は加害者にとっても被害者にとっても悲劇。自分のために、そして家族のために、車の運転にはくれぐれも注意してください。忘年会シーズンたけなわですが、飲酒運転だけは絶対しませんが、終わりが良ければすべて良しです。すよい年をお迎えください。